



2024年6月27日
第209号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

2024年度

駅業務執行体制の再構築について

提案を受ける!!

◆実施内容

(1) 営業体制見直し

- 横浜統括センター（横浜駅）・改札担当の作業ダイヤの見直し
- 小田原・伊豆統括センター（真鶴駅）
・・・早朝時間帯にインターホンによるお客さま対応の実施
実施時期については2024年10月1日とする。

(2) ホーム業務体制の見直し

- 桜木町営業統括センター（磯子駅）・・・ホーム担当の作業ダイヤの見直し
実施時期については2024年9月1日とする。

提案時の議論（1）横浜駅・真鶴駅における営業体制の見直し

組合側	会社の考え
横浜駅改札担当の作業ダイヤ見直しについて、具体的な内容は？	窓口補助の時間帯の見直しである。どのダイヤと言う訳ではない。無人になる時間帯はない。
今回の見直しは、支社が削減の枠を示して、現場が判断しているのか？	<u>そのような形である。作業ダイヤについては、現場社員の発想で考えるもの</u> である。
真鶴駅のインターホン対応はお客さまサポートコールシステムとは異なるものなのか？	真鶴駅に設置するものは、お客さまサポートコールシステムとは異なり、一般のインターホンと同様である。改札外と改札中の2か所に設置となる。
真鶴駅のインターホン対応はどこで行うのか？防犯カメラの増設や、無人時間帯のホーム担当が対応するなど検討しているのか。	<u>インターホン対応は隣の湯河原駅で対応すること</u> となる。防犯カメラの増設については考えていない。 <u>ホーム担当が対応することは考えていない。</u>
真鶴駅のインターホン対応の具体的な時間帯は？	初電帯からであるが、具体的な時間帯は対応する湯河原駅の実態に合わせて決める。

提案時の議論（2）磯子駅におけるホーム体制の見直し

組合側	会社の考え
磯子駅の体制見直しの具体的な内容は？	イメージとして遺失物業務の時間帯を考えている。
日勤を生み出した理由は？	<u>現行では日勤ダイヤが無く、現場ではこれまで日勤が生み出せないか検証してきた経緯がある。</u> これからの様々な働き方を踏まえた上での判断である。
10月1日に組織再編を控えているが、なぜ9月1日実施の判断をしたのか？	現場の声を踏まえて、できるだけ前倒しした。

サービス低下につながらない駅業務体制を構築していこう!